

 子ども支援センターつなぐ



NEWS LETTER

Vol.4

目次

代表理事より	1
話を聞く	3
一緒に乗り越える	5
暮らしを支える	7
支援の輪をつなぐ	9
Topics	11
ご支援のお願い	13



子どものための“ワンストップセンター”を日本全国に！

「子どものためのワンストップセンター(CAC)」が必要です！

虐待や性被害などを受けた子どもは、支援につながるために、自らさまざまな場所へ出向かなければなりません。

つながりは「子どものためのワンストップセンター(CAC: Children's Advocacy Center)」として、多機関多職種(MDT: Multidisciplinary Team)で連携し、初期から中長期にわたり、必要な支援が届くようにつないでいきます。様々な機関と連携しながら、子どもの権利を守り、心身の回復を目的に「子ども支援センターつながり」は活動しています。



代表理事より



代表理事 田上幸治
神奈川県立
こども医療センター医師

2023年9月24-27日にスコットランド エジンバラで行われた国際子ども虐待防止学会に行ってきました。コロナ禍で久々の現地開催でした。演題についてまとめると、一般演題の講演について項目別の演題数は虐待一般63、性虐待47、虐待の予防33、身体的虐待8、コロナ関連7などでした。性虐待の発表が多いのは、欧米ではもっとも対応しにくい虐待である性虐待の克服に関心が向いていることと、メディア関連の性虐待が増えているのが要因です。また、虐待の発見、対応から予防に関心がシフトしている点です。日本の現状とは大きな差があることがわかります。観光もしましたが、写真はエジンバラ近代美術館の大きなアート作品です。



被害を受けた子どもが自立し、自分自身を大切にしたい暮らしができるようになるまで、初期対応から中長期にわたり、手を放すことなく、多機関多職種の人たちと一緒に伴走します。



今、社会が変わろうとしている・・・、そんな風を感じています。
子どもたちのために、皆が手と手を取り合って、変化を生みだそうと
しています。

新司法面接プロジェクトでは、法改正に対応するために、全国のいたるところにいる子どもに対して、標準的に司法面接が実施されることを願って、多くの研究者や実務家が、夜中まで日々研究し、討論し、ガイドラインを策定しました。

また、子どもの被害については、何が足りていないのかすら情報を集約できていないのが、日本の現状です。

今後、子どもの被害に対応するワンストップな仕組みがつけられ、その実務の中で、子どもたちを守るために日本に何が足りないのかを議論する必要があります。

子どもたちの苦しみを間近で感じながら、大人が、社会が、ようやく変わってくれるのではないかと期待を胸に、つながぐでも全職員が日々奮闘しています。

苦しみも多くなりましたが、今ここで子どもたちのために、一步前へ、もう一步前へと、あゆみを止めずに頑張っています。

何かの制度があれば、何かの制度がいらないのではなく、皆で「手を重ねて」子どもたちを守りたい、守らなければと切に思っています。



代表理事 飛田桂
飛田桂法律事務所 弁護士



つながぐの活動



話を聞く

司法面接で
子どもから話を聞く



一緒に乗り越える（付添犬）

子どもが被害について
話すサポートをする



暮らしを支える

子どもたちが
“自分自身を大切”
に暮らし、
ところをケアする



支援の輪をつなぐ

大人が子どもをサポート
できる体制を整える



詳しくはこちらのQRコードから



話を聞く

・・・司法面接を用いて子どもから話を聞く

子どもたちが被害を話すことは、大きな負担となります。
司法面接では、できるだけ負担を少なくするよう、誘導的な聞き取りにならないように、研修を受けたスタッフが聞き取りを行います。
 お子さん自身の言葉を大切に聞き取りたいと思っています。
 面接後、必要に応じ**系統的全身診察**（頭から足先まで全身の診察）も実施し、そのまま病院で診察を受けることもできます。
 その後、必要に応じて、心のケアにつながります。



つなぐ 清水 瞳



司法面接ってなに？

専門スタッフが誘導・暗示のない面接を行い、被害を受けたとされる体験・出来事を聞き取って、できるだけ本人の言葉で話してもらう場のことです。それを録音・録画することで正確な記録を残します。
 つなぐでは、医療、司法、福祉等のバックグラウンドを持つ多機関多職種連携チームとともに実施しています。
 面接スキル向上のため、チームと面接を振り返るピアレビューを実施し、司法面接に関する研鑽も行っています。

系統的全身診察って？

子どもに優しい環境で、話を聞きながら、頭から足先まで全身の診察をします。写真撮影や検査もします。無理強いはしません。
 「あなたの体は大丈夫」と安心してもらうのも診察の目的です。
 つなぐでは、神奈川県立こども医療センターで実施しています。



2022年に行ったクラウドファンディングにより、**1,458名**の方から総額**9,287,664円**のご寄附をいただき、神奈川県立こども医療センターに司法面接室を設置しました！ありがとうございました。



「FCACでの司法面接について」
 詳しくはこちらから
https://youtu.be/gZF7SQ_1sh4





研究:アメリカ視察に行きました！

2023年6月22日から30日までアメリカに出張し、各所の視察を行いました。アメリカには950以上のCACがあり、子どものためにワンストップでの支援を行っています。今回の視察では、NCAC*を訪問し、世界的な第一人者であるリンダさんやスタッフの皆さんと具体的なディスカッションを行うことができました。

滞在スケジュール

6月23日	FBI シアトル支局/Monarch CAC/ The Thurston County Prosecuting Attorney's Office
6月24日	Courthouse Dogs® Foundation
6月26日～28日	National Children's Advocacy Center (NCAC)

*NCACとは

世界で最初のワンストップセンター（CAC）であり、世界中で運営されている1,000以上のCACのモデルです。子どものニーズに最適な形で対応するために、捜査機関、児童相談所、医療・ソーシャルワーカー等の多機関多職種連携チーム（MDT）アプローチのモデルでもあります。さらに、28万人以上の児童虐待の専門家に対し、司法面接を中心とした様々なトピックに関する研修を行っています。

2015年に公開された「Best Practices in Forensic Interviewing」（司法面接におけるベストプラクティス）の主執筆者でもあります。



Monarch CAC



The Thurston County
Prosecuting Attorney's Office



司法面接室 (NCAC)



クリスさん、リンダさんと (NCAC)



系統的全身診察室 (NCAC)



調査:性被害についての調査を行いました！

社会福祉法人中央募金会赤い羽根福祉基金2022年度事業助成を受け、「子どもの性被害への対応に関する実態調査」を実施しました。全国弁護士会及び児童相談所へ調査依頼し、調査票において子どもの性被害に関する実態やその対応内容について情報を収集を行いました。

現状課題の把握には多くのデータが必要となります。

この貴重なデータはプライバシー保護に基づき、研究事業に使用させていただきます。ご協力いただき、ありがとうございました。



一緒に乗り越える

事情聴取や証言等での「付添犬」による活動を行い、子どもが話すことのサポートを行っています。話す前の苦しみも、話した後の苦しみも含め、そのあとの人生への影響を一緒に乗り越えるサポートを様々な手段で行います。

付添犬活動をする度に、犬の存在の大きさを感じさせられます。この活動をすることで、少しでも子どもたちの役に立てることを切に願って、一步一步皆さまのご協力を得ながら活動を推進しています。



つなぐ
力 さおり



付添犬とは被害を受けた子どもが、自分の受けた出来事について、安心して他者（司法関係者や医療従事者など）に伝えられるよう手助けをする犬です。

司法面接の前後で子どもとふれあいをしたり、面接に付き添ったりします。虐待などを受けトラウマを抱えた子どもが、事情聴取などでさらなる二次被害を受けないように精神面でサポートします。

また、系統的全身診察や証言の場所に行くことすら難しい子どももいます。付添犬がいることで、そのような場面に行くための後押しになることもあります。



活動の様子を短く動画にまとめました。
右のQRコードから、ご覧ください。



大型犬の場合



小型犬の場合

お子さんからの声



「つなぐ」には、登校支援から始まり、裁判や進路のことなど、今ではいろんな面でサポートしてもらっています。

裁判をする際に犬が側にいてくれたことは特に印象に残っています。犬が側にいてくれることで緊張が和らいで、かなり話がしやすくなりました。

「つなぐ」の方々と関わるようになってから、少し前向きになれた気がします。「つなぐ」のような活動がもっと広がると思います。

・・・子どもたちが被害について話す支援をする

現在、つなぐと提携する2つの団体の社会福祉法人 日本介助犬協会 (JSDA) と公益社団法人 日本動物病院協会 (JAHA) からそれぞれの専門機関で認定を受けた犬とハンドラーが、さらに付添犬認証委員会の認証を受けて、毎回、依頼活動内容やニーズに合わせて活動しています。



JSDAハンドラーの前川さんからの声

当会の付添犬たちは、ラブラドル・レトリバーやゴールデン・レトリバー、スタンダード・プードル等大型犬です。
人のことが大好きな犬たちと触れ合うことで、少しでも辛い思いをしたお子さんの力になればと思っております。



JAHAハンドラーの畔柳さんからの声

子どもとアンジェロが互いに心を通わせられるように心掛けています。アンジェロがいる事で子どもの心の緊張が和らいでいく様子を目の当たりにすると、犬にしか出来ない形での寄り添い方をしている事がよく分かります。犬だからこそ実現できるこの活動に大きな可能性を感じています。



付添犬の普及活動



「いっしょにいるよ」-子どもと裁判に出た犬 フランとハッシュの物語-発売中!

昨年、付添犬の本が小学館より出版されました。子どもたちと関わってきた弁護士・医師・獣医師などの大人たちが子どもたちを助けたいと手を取り合い、悪戦苦闘しながらこの「付添犬」事業を立ち上げる実話をもとにしたお話です。全国の書店で発売中です。お手にとっていただけると嬉しいです。



IKEA港北・IKEA長久手様より寄贈いただいています!

ふれあいの後に、子どもたちに付添犬のことを思い出してもらえるようにゴールデンレトリバーのぬいぐるみを IKEA港北・IKEA長久手様よりご寄贈いただき、プレゼントしています。



ロビーイング活動も行っています!



2023年9月11日



2023年8月9日

毎週水曜日は付添犬Wednesday!

毎週水曜日に、付添犬についての投稿をSNSでしております。ぜひチェックしてください!





暮らしを支える



子どもが被害を受ける環境を離れ、安定した衣食住を得られる環境になっても、つなぐの支援が終わるわけではありません。むしろ、そこからの人生のほうが長いのです。子どもが、被害から回復し、「自分自身を大切にする生活」を一日でも早く送れるようになるために、どんな小さなことでも、一人ひとりの状況に応じて、オーダーメイドのサポートをしています。

子どもも自分も同じ社会の一員



スタッフSさん

虐待などにより心や体に深い傷を負った子ども達、18歳未満だけではなく、10代後半から20代半ばの方を主にサポートしています。子ども時代の心や体の傷が行動や思考に及ぼす影響は、安定した環境があったとしても、様々な形で彼らを苦しめ、時には周囲に理解されないことも多い中、子どもたちには束の間でもほっと一息ついてほしいと切におもっています。

子どもも自分も同じ社会の一員であることを忘れずに、自然体で伴走していくことが大切だと思っています。

SOSを出せる存在に

普段は、行政で児童虐待ケースワーカーの仕事をしています。児童が対象なので、支援できるのは18歳手前まで。関わってきた子どもたちが、その後どのように生きていくのか、その先の支援はあるのか、ずっと気になっていました。

そんな折、被虐待を受けた女性が自活するにあたり、見守りボランティアをお願いできないかとつなぐさんから依頼され、すぐにお請けしました。具体的にはバイト先の緊急連絡先になったり、LINEで近況を確認したり、生活の豆知識を伝授したり、急病時に駆け付けたり、定期的にご飯を食べながら今後の相談をしたり、つなぐのスタッフさんと連携しながらの支援です。心掛けているのは適度な距離感。いつでも安心して彼女がSOSを出せる存在でありたいと思っています。



ボランティアA0さん

子どもたちが“自分自身を大切”に暮らし、こころをケアする

衣食住の支援



食を支える

生きるうえで、「食」は欠かせません。「食品を送る・受け取る」を繰り返すうち、「自分の希望を伝える」という経験ができるようになります。



衣を支える

すべてを置いて家を出てきた子どもは、季節が変わると着るものにも困ります。生活を立て直すためのバイトに行くにも、バイトに適した洋服が必要となります。



住むを支える

暮らしの中心は「住まい」です。どんな時でも、住まいを探したり、そこでの暮らしをスタートするために必要なものを揃えたりするサポートを行います。

同行支援



日常や将来を支える

行政、学校、病院の手続きやこれまで経験したことの無い申請などの手続きを伴走します。



こころを支える

アウトリーチなサポートを進める中で、子どもを支える人たちで情報を共有し、こころをささえるサポートをしています。



医療や福祉につなげる

子どもを中心に、その時々に必要な支援につなげることで、その後の成長や自立への影響を最小限にするようにサポートを続けます。



生きる力につなげる

様々な場面で自分の意見が伝えられるようになるといったように、少しずつの成功体験の積み重ねが成長につながります。



支援の輪をつなぐ



つなぐ
牧田 富美子

つなぐでは、子どもに必要な支援を正しく届けるために、子どもに関わる大人が正しい最新の知識を持つことが必要だと考えています。「子どもから話を聞く」ことを中心に、専門の先生をお招きして研修や講演会を行っています。

またアメリカのNCAC(National Children's Advocacy Center)にコンサルテーションを受けながら新しい司法面接プロトコルを作成し、それを利用するための「つなぐ司法面接研修」を2023年度から開始しました。今後も最新の情報を分かりやすく、皆さまにお伝えできるように頑張ります！

新研修
スタート！



柔軟な司法面接手法を学びたい方
面接スキルを自分のモノにしたい方

つなぐ司法面接研修

内容	子どもに負担の少ない聞き取りを行う司法面接の背景や会話の特徴、多機関多職種で連携する必要性などを学んだ上で、演習をたくさん行い、面接スキルをあげます。
時間	2日×2回（計4日）
参加方法	オンライン
料金	65,000円/人（リピート受講の方は45,000円/人）
日時	第2回：2024年7月6日, 7日, 27日, 28日 第3回：2025年1月4日, 5日, 25日, 26日

新司法面接プロジェクト（P.11）で開発した新しいプロトコル及びガイドラインを利用するための研修です。

司法面接のスキルをあげたい！最新の研究を知りたい！

研究と実践に基づいた知識を得られる機会です。皆さまのご受講お待ちしております！

子どもから最初に被害報告を受ける可能性がある方たち



教職員、保育士、幼稚園教諭、学童指導員等

子どもの話を聞く研修

司法面接研修をすでに受講したことがある方たち



面接スキルのブラッシュアップをしたい方

ピアレビュー研修

ほかにも研修盛りだくさん。
詳しくはこちらからご覧ください。

HP

2024年度スケジュール



・・・大人が子どもをサポートできる体制を整える

2023年 つなぐの活動軌跡

1月

第8回市民講座「子どもの『トラウマ』と『解離』」

NPO法人レジリエンス代表の中島幸子氏を招き、性暴力などにより、心身に影響を受けた方の日常生活の困難を理解し、適切な説明や対応をできるようになるための講演を実施しました！

2月

ボランティア説明会



県立子ども医療センター内に司法面接室を設置、運用開始
(東京読売新聞、毎日新聞等に掲載有り)



第8回市民公開講座
講師の中島幸子氏

3月



静岡新聞、北海道新聞ほか
「付添犬」派遣百件超 被害の子どもに寄り添い

4月



「子どもの話を聞く」-新司法面接プロジェクトの研究成果を発表
(産経ニュース、エキサイト等に掲載有り)

5月



善意が広がる、善意をつなぐ -パイフワードプロジェクトに参加

6月

アメリカ視察 (P.4)



日本子ども虐待医学会
つなぐブースの様子

7月

日本子ども虐待医学会 in 尼崎

ボランティア説明会



弁護士ドットコム
『子どもの性被害、立件に高いハードル 「証拠がない」「日時の特定」 どう乗り越える?』

8月

付添犬説明会



弁護士ドットコム
「子どものワンストップ支援センター、日本にはたった2か所…性被害の緊急対策に課題は？」
朝日新聞デジタル
「家で勉強みてあげる」特別扱いの先に性暴力 見えない子どもの被害

9月

子どもの権利擁護シンポジウム2023 (P.11)



テーマ民間ワンストップセンターCACと行政MDT

(産経ニュース、BIGLOBEニュース等に掲載有り)



第9回市民公開講座
講師の安永智美氏

10月

第9回市民講座「多機関多職種連携」

子どもを犯罪の加害者にも被害者にもさせない少年サポートをされている福岡県警の安永智美氏を招き、ハイブリット形式で講演を実施しました！

11月

日本子ども虐待防止学会第29回学術集会 滋賀大会

今年度実施した性被害調査の報告を初め、新司法面接についてもご説明させていただきました！

2023 SGDGsパートナーシップフェア



: メディア掲載



: プレスリリース

Topics

＼ホームページ リニューアルのお知らせ／

つなぐのホームページをリニューアルいたしました！
つなぐについてより分かりやすくお伝えするため、
デザインや内容などを刷新しました。皆さまに知ってほしい、つなぐの活動や想いを詰め込みました。
リニューアルにともない、URLが変更になりましたので
ブラウザの「ブックマーク」「お気に入り」などに登録
されている場合は、URLの変更をお願いします。

新URL：<https://tsunagg.org>

ぜひご覧ください！



＼子どもの権利擁護シンポジウム2023開催／

2023年9月11日（月）衆議院第一議員会館にて

当法人は、被害を受けた子どもが司法面接や系統的全身診察を受け、その後、心身の回復につながる支援を切れ目なく受けられるようにする、「子どものためのワンストップセンター（CAC：チャイルドアドボカシーセンター）」が必要と考え、米国の取り組みを参照したNPO法人を設立し、活動を続けてきました。これまでの実務と研究について報告し、「子どものワンストップセンターと子どもの権利擁護（アドボカシー）」を考え、日本の現在地点を確認しながら「未来」に向けた、子どもの権利擁護シンポジウム2023を開催し、基調講演には司法面接の世界的第一人者であるリンダ・コーディスコ・スティールさんをお迎えしました。

＼新司法面接プロジェクトについて／

2022年9月より、アメリカのNational Children's Advocacy Center (NCAC) のコンサルテーションのもと、日本の法制度及び社会文化的環境に、より一層即した形で、子どもに対する司法面接が行われる必要があるとの認識に基づき、日本版司法面接プロトコルの研究・開発（新司法面接プロジェクト）を実施してきました。

詳しくは、HPをご覧ください。





若い世代が積極的に参加!

夏休み企画!

この夏、インターン企画として**捜真女学校高等学部**の有志学生と共に、横浜地方裁判所、そして横浜市議会見学に行ってきました!
実際に裁判を傍聴することで、被害にあった同世代にとって、つなぐの事業の柱でもある司法面接や付添犬の重要性を痛感しました。

今年度より大学生インターンの活動を始動しました!
現在は3名を中心に、広報・啓発活動に取り組んでいます!



研修運営

運営の裏側を勉強!

つなぐの研修ではオンライン開催も多く実施しており、事務局としての運営についても実務的に学んでいます。
実際に9月のシンポジウムでは会場内運営に携わりました。
また資金に関わるクラウドファンディングやSNS運営も実際に行っています!

学会への参加



↑現在活動中の学生インターン3名↑

学生インターン大募集!

学生だからこそ出来ることを最大限に!
自分らしさを活かし、すべての人が安心して暮らせる社会作りの一端を経験してみませんか?

(大学1年 学生インターン E.S)
実際にSNS運営の基盤作りやクラファンを行う等、スタートアップな実務を経験出来る事に、やりがいと達成感を感じながら活動しています!

(大学1年 学生インターン T.I)
様々な仕事に主体的に関わりたいと思える場所です。他では経験出来ないアクティブな活動が多いです!

学生インターンプログラム
参加申込はこちらから→

ご質問等ございましたら
以下のアドレスまでご連絡下さい
intern.tsunagg@gmail.com





ご支援のお願い

皆さまのご支援に支えられています。

つながりの活動は、各種助成金や企業や個人の皆さまからの一般寄付、クラウドファンディング等に支えられています。

ご寄付いただきました団体、企業、個人の皆さまに感謝いたします。

誠にありがとうございました。引き続きご支援の程、よろしくお願いいたします。

話を聞く



公益財団法人日本財団

一緒に乗り越える

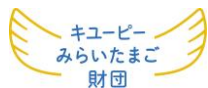


felissimo fund
happiness in harmony with others

国際ソロプチミスト
愛知ガーデニア

株式会社フェリシモ

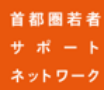
暮らしを支える



一般財団法人
キュービーみらいたまご財団



株式会社 横浜銀行
<はまぎん>ミライを創る
アクションプログラム



首都圏若者
サポートネットワーク



夢を叶え、幸せをつなぐ
ロイヤルハウジンググループ



赤い羽根福祉基金 特別プログラム
「被害者やその家族等への支援活動助成」
社会福祉法人中央共同募金会

支援の輪をつなぐ



公益財団法人
日本財団



赤い羽根
福祉基金

社会福祉法人
中央共同募金会

新司法面接プロジェクト

上野 善様 上野 誠様

木村 寿克様 千葉 昭夫様

HPリニューアル



一般社団法人村上財団

横浜マラソン



横浜を走る、世界が変わる。

2023.10.29 sun

横浜マラソン組織委員会



賛助会員および寄付のお願い



2022年4月11日付でつなぐは横浜市から『特例認定NPO法人』として認定されました。

つなぐにご寄附をくださった方は、寄附金控除などの税制上の優遇措置が受けられます。

詳しくは、右記のQRコードでホームページをご確認ください。



賛助会員

賛助会員へのお申し込みは、こちらからお願いします。

個人	団体
入会金 5,000円	入会金 10,000円
年会費 5,000円/1口～	年会費 10,000円/1口～



リンク先より
お手続きください

クレジット決済・個人情報に関するご注意点

【クレジットカード決済について】
Syncableという決済システムを利用しております。同社では、シマンテックSSLサーバ証明書を採用しており、入力情報は安全な形で送信されます。お客様情報も暗号化され厳重に保管されるため、第三者に漏れることはございません。また、クレジットカード番号は、当団体には開示されません。

【個人情報について】
ご登録いただきましたご住所・お電話番号・メールアドレス等の個人情報は、活動報告のためのメール送付、資料のご郵送、領収証のご郵送、お電話でのご確認のみに使用します。ご本人様の承諾なしに第三者に提供することはありません。

ご寄付

NPO法人子ども支援センターつなぐの活動は、皆さまからのご支援によって支えられています。自由な金額・継続でのご寄付を随時受けつけています。

【口座振込の場合】

銀行名：三井住友銀行 横浜支店
口座種別：普通口座
口座番号：7458928
口座名義：NPO法人子ども支援センターつなぐ
Eビィ・オオ初ジンドモエンペル・ツナグ

クレジットカード



応援する！

【マンスリーサポーター】

つなぐは、虐待や性暴力、いじめなどを受けた子どもが、「聞き取り」「診察」「こころのケア」等をワンストップで受けられるように活動しています。さらに充実した活動を行うために、継続的に支援いただけるサポーターを募集しています。よろしくお願ひします。

沿革

- ▷2015年
神奈川県立子ども医療センターにて、田上医師を中心とし、子ども虐待に関わる医療者、医療機関及び司法関係者（弁護士、警察官及び検察官等）ならびに子ども虐待に関わる機関が集まり、神奈川県子ども虐待勉強会がスタート
- ▷2018年
9月 田上医師・飛田弁護士 つなぐ設立をめざす
- ▷2019年度
1月30日 設立総会開催
4月 2日 法人登記
5月11日 第1回市民公開講座開始
- ▷2020年度
5月 虐待被害児支援・司法面接研修（CAN研修）開始
- ▷2021年度
11月19日 団体名称変更
「神奈川県立子ども支援センターつなぐ」から「子ども支援センターつなぐ」へ変更
3月 事務所移転
- ▷2022年度
4月11日 横浜市より特例認定NPO法人の認証を受ける
2月15日 神奈川県立子ども医療センターに常設の司法面接室を設置、運用開始
3月 新司法面接プロジェクト（中間報告書）を発表

事業内容

- 1 被害児等の権利擁護事業
- 2 被害児等、その周囲の人の心身の回復に対する支援事業
- 3 専門知識を持った支援者の養成事業
- 4 虐待、性暴力、暴力等の発見、介入、予防に関する普及啓発事業
- 5 被害児等の負担軽減や情報収集に関する研究事業
- 6 広報活動・調査研究、政策提言及び連携促進に係る事業



SNS紹介

メルマガ



Facebook



つながぐでは、子どもにかかわる皆さまに役立つ研修やいろいろな活動を行っています。つながぐの活動を定期的にご紹介する、SNSやメルマガをぜひご登録ください。

Instagram



X



スタッフ紹介

代表理事	田上 幸治 (神奈川県立こども医療センター 患者家族支援部長 医師)	理事	仲 真紀子 (理化学研究所理事 北海道大学名誉教授 立命館大学客員教授)
同	飛田 桂 (飛田桂法律事務所 弁護士)	同	
理事	新井 康祥 (楓の丘こどもと女性のクリニック院長 児童精神科医)	同	藤田 香織 (藤田・戸田法律事務所 弁護士)
同	飯島 奈津子 (神奈川県弁護士会元副会長 弁護士)	同	丸山 洋子 (名古屋市中心児童相談所 児童精神科医)
同	飯塚 富美 (社会福祉法人心泉学園 理事長)	同	山本 真理子 (帝京科学大学 講師)
同	奥山 真紀子 (子どもの心のクリニック・テラ 院長)	同	吉田 尚子 (日本動物病院協会 理事 NPO CANBE 理事 獣医師)
同	酒井 邦彦 (TMI総合法律事務所 元広島高等検察庁検事長)	監事	千歳 博信 (千歳・大石法律事務所 神奈川県弁護士会元副会長 弁護士)
同	島田 恭子 (社会福祉法人真生会 常務理事)	同	本郷 順子 (本郷順子税理士事務所 税理士)
同	田村 正博 (京都産業大学教授 元警察大学校長)	事務局長	新井 香奈

住所

〒231-0005
神奈川県横浜市中区本町5-49 甲陽ビル6階 飛田桂法律事務所内

TEL

045-232-4121

mail

info@tsunagg.org

FAX

045-264-7800

HP

https://tsunagg.org

